

平成 28 年度 二宮高等学校評価

視点	4 年間の目標 (平成 28 年度策定)	1 年間の目標	取 組 の 内 容		校 内 評 価		学校関係者評価 ( 3 月 10 日実施)	総合評価 ( 3 月 28 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	生徒の多様なニーズに応える教育課程を編成する。 生徒の学習意欲や探究心の向上を図り、基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力を養う授業の改善に取り組む。	現行の教育課程の課題を整理して、新たな教育課程を編成する。 思考力・判断力・表現力を養う授業研究をおこなう。	生徒の進路状況や他校の教育課程を参考としながら、各教科で現行の教育課程の課題を整理・集約して、教育課程を編成する。 アクティブラーニングの視点をもった授業の研究を実施する。	課題の整理を的確におこない、新たな教育課程が編成できたか。 事後アンケートにより、教員の意識が高まる研修会が実施できたか。	系選択に関係する課題を解消し、生徒の適性や能力、進路希望に応じた新たな教育課程が編成できた。 アクティブラーニングに関する研修を実施し、約7割の職員が参加し、参考になった、理解が深まった等、肯定的な感想が過半数であった。	教育課程変更を周知するとともに、学校案内や要録、調査書等の改訂を確実にしなければならない。 研修を踏まえ、授業への言語活動の取り入れ方の工夫や確かな学力の定着を図るための教材・教具の研究等、生徒の学習意欲を引き出すための授業改善をすすめていきたい。	生徒の進路希望には多様なニーズがあるので、それらに応じられるような教育課程の編成をしてほしい。 校内における授業研修では、多くの参加があり、授業を工夫するきっかけとなったようなので今後も授業の工夫を続け、本校の生徒にあった授業展開をしてほしい。	平成 30 年度の教育課程について校内で検討し、系選択について課題を解消することができた。 アクティブラーニングに関する研修については、教員への意識付けという点では成果があった。今後もこうした研修を続けていく必要がある。	・校内研修を継続して進め、生徒が思考力・判断力・表現力を養うことができる方法を各教科・科目で追及していく。
2 生徒指導・支援	基本的な生活習慣の確立と教育相談体制の充実を図る。 生徒の主体的な活動を支援し、部活動の活性化を図る。	服装頭髪・遅刻・ルールやマナーの遵守等をきめ細かく行う指導する体制を作る。 加入率を上昇させる取組を行う。	指導体制の共通認識を図り、きめ細かく指導する。 部活動紹介等の勧誘活動の充実を図る。	昨年度に比較して、再登校指導者数・遅刻者数・交通ルール違反者数が減少したか。 部活動加入率が 60% 以上になったか。	毎月の交通安全指導や服装・頭髪・駐輪指導の実施により、再登校指導・交通ルール違反者の数は減少している。 1 年男子の加入率はおおむね 60% を達成したが、1 年女子の加入率は約 40% に留まった。	自転車・バス等の乗車マナーについて苦情が寄せられ、身だしなみ指導も継続中である。指導体制の更なる見直しと全体での共通認識を確立していきたい。 女子の加入率を上昇させる取組を検討し、実施する。	自転車・バス等の乗車マナーについては、少しずつ改善がみられた。 各部活動の活動については、報道結果一覧により活躍している部活動の様子がよくわかる。また、通学路がきれいになっているのは、部活動で清掃をしていることがわかった。今後も継続してほしい。	交通安全指導、服装・頭髪指導をしてきた結果、改善がみられているが、さらなる継続的な指導が必要である。 女子の部活動加入率を高め、当初の部活動加入率 60% 達成に努める。	・交通安全指導に関しては、にのみやアクティブクラブとの協力体制を継続し、交通事故防止に継続的に取り組む。 ・二宮町安全安心まちづくり旬間に合わせて、本校も協力体制を整える。 ・部活動安全対策支援事業により生徒の安全対策を図る。
3 進路指導・支援	キャリア教育・シチズンシップ教育の充実を図る。 個々の進路希望実現をきめ細かく支援する。	地域と連携したシチズンシップ教育を実施する。 面接指導の充実を図る。	二宮町選挙管理委員会と連携した政治参加教育を実施する。 面接指導に積極的に取り組む指導をおこなう。	事後アンケートにより、政治参加教育の理解度が高まったか。 面接指導に積極的に取り組んだ生徒数が増えたか。	7 月、3 年生対象に行った模擬投票は 30% の投票率がみられた。また、投票所となった南 3B 教室は見学者多数であった。 夏期 80 名、2 学期は全職員対応し 100 名の面接指導ができた。	事前の案内や教室掲示により政治参加を促したが、家庭のバックアップ等を更に得て徐々に参加意識への理解を高めたい。 担当者により複数回指導を頂き生徒は真剣みを増していった。特に A O は小論、プレゼン、学力の充実を図りたい。	二宮町との協力で、18 歳選挙について取組めたことはよかった。 3 年生で進学準備をする生徒が昨年度とほぼ同様の人数ということだが、少しでも進路先が決定するよう継続して努力してほしい。	生徒の政治参加意識が高まってきている。特に二宮町選挙管理委員会と協力した取り組みは成果を上げている。 校外模擬試験をとおして、全国レベルでの自分の学力を知る機会となった。	・授業や総合的な学習の時間を利用して、全校生徒への政治参加意識を高めていく。 ・保護者対象進路ガイダンスを通じて生徒・保護者・学校が一体となった進路に関するスキルの向上をめざす。
4 地域等との協働	地域との連携・協働の充実を図り、信頼される学校づくりを推進する。	ボランティア活動の積極的参加を奨励する取組を行う。	ボランティア活動の参加機会を増やし、ボランティア活動紹介コーナーの充実を図る。	昨年度に比較して、活動機会と参加者が増加したか。	海岸清掃やなのはなボランティアなど、二宮町内で実施される活動への参加者が増加した。	二宮町、二宮町社協等との連携を深め、さらに二宮町でのボランティアへの参加機会を増やしていく。	二宮町と協力した菜の花祭りは高校生の意見が聞けたり、高校生ボランティアの参加があつて素晴らしかった。	校外でボランティアに参加する生徒が少しずつ増加していて、地域からも評価されている。	コミュニティスクールに指定されたこともあり、来年度から組織を発足させ、地域や職員の協働意識を高めていく。

5	学校管理 学校運営	<p>事故・不祥事防止を徹底するとともに、教職員の実践的指導力を一層向上させる。防災教育と安全安心な学校づくりを推進する。</p>	<p>成績処理を確実に遂行できる体制を作る。 二宮町と連携した防災教育（DIG）を実施する。</p>	<p>入力から点検までの業務の注意事項を整理し、研修会を通じて一人ひとりの意識とスキルの向上を図る。 二宮町防災課と連携し、保護者・生徒・教員が参加するDIGを開催する。</p>	<p>入力ミス等による修正件数が前年度と比較して50%になったか。 事後アンケートにより、防災に関する意識や知識が高まったか。</p>	<p>研修会等を通じて、一人ひとりの意識とスキルの向上はうかがえたものの、修正件数は前年度比約15%にとどまった。 防災避難訓練を実施し地区別集合などを確認した。DIGには保護者約30名が参加した。町の防災訓練では校内案内を実施した。</p>	<p>訂正の内容・理由を的確に分析し、要注意事項を整理するとともに、その実数をもとに実施する会議・研修会等を通じて、より一層の一人ひとりの意識や点検スキルの向上を図る。 防災意識のさらなる向上をはかる。DIGを継続的に実施し、参加者について対象生徒の拡大や地域住民の参加などを検討していく。</p>	<p>今後も継続して、事故防止と不祥事防止に努めてほしい。 PTAが参加したDIGは良かったので、今後も継続してほしい。</p>	<p>時期に合わせた事故防止の呼びかけを行い、職員の意識付けを行いミスが減少している。 DIGは定着してきている。今後は参加者の確保を考えていきたい。</p>	<p>・成績の入力については、今後も研修や二重チェック態勢で確実に減らしていく。 ・入試に関しては新しい制度になったため、さらなる採点の際の改善策を検討する。 ・本校が避難所になっている関係から、二宮町との協力体制を整え、地域住民との協力体制を整えていく。</p>
---	--------------	---	--	---	---	---	---	--	---	--